

第5学年3組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 後藤 春奈

1 題材の構想 持続可能な社会へ 物やお金の使い方 (東京書籍) C

| | | | |
|---------------------|---|--|---|
| 児童の姿 終了時の 題材 | 「持続可能な社会の構築」などの視点から、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫しようとしている。 | | |
| | 〔知識及び技能〕 | 〔思考力、判断力、表現力等〕 | 「学びに向かう力、人間性等」 |
| 題材の目標 | 物や金銭の使い方と買い物のしくみや環境に配慮した生活について理解するとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 | 物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 | 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 |
| 目標に向かうための手立て | ○研究の視点 【視点1 課題設定の工夫】 今までの自分や家族の買い物を振り返り、失敗したと思う経験を出し合い、共有し合うことで、よりよい消費者になろうという意欲を高めることができるようにする。 【視点2 指導の工夫】 ロイロノート内のカラーテキスト活用・お金の使い方の疑似体験・具体的な買い物の場面想定によって、児童の意思決定や表現・集約ができるようにする。 【視点3 振り返りの工夫】 振り返りシート（ロイロノート）を活用したり、児童の記入例を全体に紹介したりすることによって、児童の振り返り意欲を高める。 | | |
| 児童の実態 | ○一人で牛乳を買う場面を想定した時に選ぶ基準として、銘柄（9人）、値段（7人）、消費・賞味期限（18人）が挙げられた。 ○買い物をするとき大切なことを自由記述で尋ねたところ、 ・値段 ・消費・賞味期限 ・必要かどうか考える ・無駄遣いしない などが多かった。 | ○「気に入った筆箱があったら、買いますか？」の問いに、買って使用中のものを捨てる（2人）、買って使用中ものを取りあえず残して新しく買ったものを使う（10人）、今使っているものが古くなるまで新しい物を保管しておく（14人）買わない（8人）だった。 ○お年玉を全額貯金する児童が（13人）、保護者に預ける児童が（9人）、どうしてもほしい物を買って残りを貯金（9人）、自分で保管（1人）その他（1人）だった。 | ○一人買い物の経験を約7割の児童がしている。（おやつ・おもちゃ・食料品などのおつかい） ○物を大切にするために、何かしていることはあるか尋ねたところ、はい（23人）いいえ（11人）だった。「はい」と答えた人の回答は、 ・きちんと保管する ・古くなるまでずっと同じ物を大切に使う ・きずつけない ・整理整頓する などが多かった。 |

| 題材の評価規準 | | |
|--|--|---|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ① 買い物のしくみや支払いの方法について理解している。 ② 購入に必要な情報の収集・整理について理解し、適切にできる。 | ① 限りある物や金銭の使い方や消費者の役割について考えている。 ② さまざまな情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い物の仕方について考え工夫している。 | ① 家族の一員として、今までの買い物を振り返り、生活を改善しようとしている。 ② 上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境や資源に配慮した生活を工夫し、実践しようとしている。 |

指導と評価の計画（6時間取り扱い ●本時3/6）

| 課題 | 次 | 時 | 主たる学習活動 | 評価内容・方法 |
|----------------|---|---|--|------------------------|
| 目指せ 買い物名人!! | 1 | 1 | ○消費者の役割や必要な物を手に入れるためのいろいろな方法について理解する。○自身の買い物の失敗の経験を想起する。 | 【主】① 観察・振り返りシート |
| | 2 | 1 | ○収入と支出のバランスがとれるよう、家庭では計画を立ててお金を使っていることを確認する。 | 【思】① 観察・振り返りシート |
| | | 1 | ●買い物の場面を具体的に想起し、売買契約について学ぶ。 | 【知】① 演習・振り返りシート |
| | | 2 | ○買い物の方法、支払いの方法について学び、買い物をするとき、どのような情報を集め、整理し、どのように選ぶかを考える。 | 【知】②【思】② 観察・振り返りシート |
| | 3 | 1 | ○消費者として持続可能な生活の工夫についてできることを考え、買い物と環境や資源との関わりを知る。 | 【主】② 観察・振り返りシート |

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

筆箱を買う場面などを具体的に想起しながら、売買契約について理解することができる。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 | ○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応 | ○教師の支援 ◎評価 | 備考 ・ICT 機器等 |
|----|----|---|--|--|------------------------------------|
| 導入 | 8 | 1 本時の学習課題を見つめる。 | ○子どもたちの描いた買い物4コマ漫画の中から、買い物の失敗の例を一つ紹介し、あなたならこのあとどうしますか?と尋ねる。 ・そのまま持っておく。 ・返品する。 ○簡単に返品してもいいのかな。 | ○子どもたちの4コマ漫画を使うことで、興味関心を高め、自分たちの課題について意識できるようにする。 ○消費者側の都合による返品はお店の厚意であって、本来できないことを伝える。 | 買い物失敗の例（4コマ漫画） |
| | | 買い物で失敗しないために、買い物のしくみを学ぼう。 | | | |
| 展開 | 10 | 2 売買契約について学ぶ。 (1) お店での筆箱の買い物場面について考える。 →売買契約について学ぶ。 | ○売買契約は、どの場面で成立するのでしょうか? ・お金を払ったときかな? ・商品を受け取ったときかな? →正解は、「これください。」「はい。」の場面です。 | ○児童一人一人の考えを把握するため、ロイロノートを活用する。 ○買う人の「申し出」と売る人の「承諾」によって売買契約が成立することを確認する。 | タブレット (ロイロノート) |
| | 5 | (2) 他の買い物の場面でも同様に売買契約が成立することを確認する。 | ○電話での注文やインターネットでの買い物の場合にも、売買契約が成立していると思いますか。 ○他には、どんな場面で売買契約をしているかわかりますか。 ・自動販売機 ・バス ・美容室など | ○いろいろな買い物の場面を扱うことで、口頭でも契約が成立することをおさえるとともに、子ども達の日常生活に即した学びに広がるようにする。 | ・電話での買い物場面イラスト ・インターネットでの買い物の画像 |
| | 7 | (3) 売買契約成立の場面の問題を解く。 | ○前回みなさんにしてもらった問題に、もう一度チャレンジしてもらいます。 | ◎【知】①売買契約について理解している。(シート) ○お店の人の話から、返品や買い物の失敗は資源の無駄につながることもあることを理解する。 | ・演習シート |
| 終末 | 5 | (4) 返品についてお店の方の話を聞く。 | ○インターネットでは、「返品は簡単です。」と書かれていますが、返品について、お店の方の話を紹介します。 | ○返品や買い物の失敗は資源の無駄につながることもあることを理解する。 | ・お店の方の話 |
| | 10 | 3 本時の学びを振り返る。 | ○買い物で失敗しないためには、どうしたらよいでしょう。今日の学習の大切な言葉を使って、まとめましょう。 ○振り返りをしましょう。 ・返品はお店の厚意なので、売買契約前によく考えて買い物ができるようになりたい。 | ○売買契約についての記述やこれからの買い物で気を付けることなどを全体に紹介することで、買い物をする時の心構えを共有する。 | タブレット (ロイロノート) |